

刊夕日四十月九

常警日新聞

定価一紙五銭 一月一元二角 半年六元 一年十二元
 郵政特許第五〇二二號 行金五五號
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警日新聞社 電話八三〇番
 印刷所 常警日印刷株式会社

ベルの來歴

(古代西洋の探偵譚)

中柴光恭

私はこの夏、出来るだけ多くの探偵小説の類を漁つた。探偵物は遠い昔からある。(勿論私は甲賀三郎式の狭くする概念で規定してゐるのではない) 例へば古いもので、ヘロドタスの第二巻にある『ランブシニタスの寶庫物語』、イーニドの第八巻にある『ハーキユリズとケイカスの物語』など相當に面白い。前者はギリシャ物で、謀を以て謀の裏を搔くといった底の心理的手法を見せたもの。後者はラテン物で、虚偽の手がかりの捏造など、かなり氣の利いた味を見せてゐる。しかしソイヤースも言つてゐるやうに、探偵物は前世紀の中期に至るまでは、怪物などとは異つて、どここの國いつの時代にもあつたといふわけのものではなく、それ等は力の弱い試作的なスケッチやエピソードとして瘻癩的に現れたのであつた。

近頃、我國でも「探偵」「探偵小説」等この種の雑誌が、約二十種も出てゐるところのアメリカには遠く及ばないが、とにかく雨後の

「探偵小説は謎以外のものであつてはならぬ」といふ「從來の型を破れ」等々威勢のいふ論争も行はれて、探偵小説界は、蟬しぐれの森の如くに滅法、賑やかである時續つて古いものもの虫干しも時節柄、一寸はいふだらう。

私が英譯から重譯して次に掲げた「ベルの來歴」はエダヤのアポクリファ(經外聖書)にあるもので、たわいな程の幼稚さではあるが、それでも「有形の證據の分拆」といふ探偵物の一つの原型を覗かせてゐること、又それが原始宗教の偶像に纏るものであることなどに於て、興味がある。

バビロニア人にはベルと呼ばれる偶像があつた。毎日それにならな十二個の楯に盛つた見事な小麦粉と四十頭の羊と、それに六個の容器に溢れる葡萄酒のうま酒とが供へられた。そして王はベルを尊崇して、日毎禮拜に出向いた、けれどもダニエルは彼自身の神を崇拜してゐた。

それで王は彼に訊いた「なぜ、汝はベルの神を崇拜せぬのぢや?」「さればでございませう。私は天と地とをお創りになり、そして



彼は應へて言つた。

「では、汝は、ベルの神は生ける神と思はぬのぢやな?」「ベルの神が、毎日どれ程、喰べたり、飲んだりなされるかを見ないのぢやな?」「お、王様、お騙されになつてはいけません、と申しますのは、あれは中味は粘土で外側は眞鍮でしかないのぢやありません。でどんな物でも飲み食ひなんか決して致す筈はございませぬ」ダニエルは笑ひながら言つた。すると王はカンカンに怒つて、神官達を召出して言渡した。(續く)



私しはけしが

私しはけしが、だいたさよ
 黒井春美作
 私しは家の庭隅に何時の頃からか咲き出でた紅い眞紅なけしの花たつた一輪咲いてゐた

私しはけしが大好きよ
 眞紅に燃えた情熱を物語るかのその如く情味のこもつた愛の花

乙女十七戀心
 小さき胸の奥底に
 眞紅に燃えた心
 君に捧げんけしの花
 かくて戀知る處女子に
 愛され行くけしの花
 紅い眞紅な情味ある
 私しはけしが大好きよ

産科 婦人科
井坂醫院
 町田町平
 番九五五話電

平新川町十九
木村病院
 電話一六四番
 産科 院長 木村寅次郎
 婦人科
 内臓外科 醫學士 松永憲一
 整形外科
 藥局 東京藥學士 萩原駿二

九月十四日ヨ三日間
 岡田時彦。鈴木傳明主演
若者よなぜ泣くか大會
 ……前後篇全二十卷上映…
 林長二郎。森靜子
千代田の及傷
 料金二〇錢 平 館

外科
 門 專
 科 線 光 X
上田外科醫院
 平町南町
 電話二一九番

産名城磐
新節出
 最優最大日本生命代理店
 志賀盛榮
 平四丁目電二三番

 魚問屋

文具破格特賣
 一 半額、三割引、二割引
白運動靴 五十錢 九半以下
 六十五錢 九七以上
 平聲前 マルカ運動具部
 電話三十二番

貸切の御用命は?
 獅子吼(四四九)ノ勢デ
 眞先ニ……(マツサキ)
 ミニニタクシーへ!!!

吉田眼科病院
 平聲屋町、電話六八番

月曜論説

聽衆の態度が批判的に

氣乗り薄で活氣を欠いた 今回の縣議戦も候補者の顔揃ふと共に選挙期日が切迫して今や愈々本舞臺に入つた観がある、昨日の政友田子派が湯本、玉川、小名濱に張つた論陣が切掛となつて烽火は舉がり郡内至る處政民兩派入り亂れて白熱的言論戦の舞臺は展開される、以前は政戦の激烈である土地柄だけに兩派共に彌次の妨害の應酬繁く演説會の會場が全く騷擾化して醜き争鬪場を現出するが如き場合を見る事が屢々繰り返された、然れ共普通選敷かれて以來此の弊風は全く去り敵の言も是れを傾聴するの雅量を示すに至つた、是れは演説會の妨害が普通選法に照らして選挙違反に問はるゝ懼れがある爲めである事にも起因するは勿論であるが一つには地方人が政治的に自覺し且つ進歩を來せる結果であつて地方政界の爲め誠に喜ぶべき現象である妨害甚しかりし頃は登壇辯士も不真面目な者が多く無責任にして奇矯なる言を吐き唯單に大向ふの喝采を博さん事のみ汲々たる傾きがあつたが聽衆の態度が論旨に對して批判的となり黙々として是れを聴くの型ちに向つては辯士も又此の薄氣味悪き嚴肅さに打たれて飽迄も真摯な態度を以つて

條理を説くの境地に進み演説會は彼我政策の研究に精進する政治修練場の光景を呈しつゝある、これこそ

田子候補の第一聲 敵壘に肉迫す

紅一點齊須嬢の熱辯 氣勢大いに揚る

田子派が昨日湯本町に開催した推薦演説會は正に今回の縣議戦言論陣のトップを切つたものであり殊に同地は比佐代議士の出身地である關係上牢固として抜くべからざる民政派の

地磐で 今回も石川候補が名乗りを擧げて居る場合であるから正に敵壘に迫るの壯烈な感あつたが定刻前既に聽衆壽司詰の盛況にて午後一時半開會、同地青年高木正巳君の開會辭に始まり彌次妨害全々皆無にて出る辯士何れも大喝采に迎えられる殊に紅一點の婦人辯士齊須ハツノ嬢の

萬丈の 紅焰は聽衆に多大の感動を與へ演説會は大成功を博して午後五時半閉會した因に當日の出演辯士左記の如くである

開會の辭(高木正巳)打倒不景氣内閣(坂本忠治)國民は義憤せよ(鈴木己重)縣政刷新の爲めに(片寄一)不景氣内閣を倒せ(小野正夫)所感(矢内嘉績)政界の革新(坂本惣

立憲政治の發達向上は吾等の大きな收獲となつて地方開發の上に期して待つべきものあらう事を確信する。

また大盛況を極め徹頭徹尾敵の本壘を衝いて氣勢大いに上り聽衆の大喝采裡に散會した

石灰石運賃値下

石城郡四倉町石城セメント株式會社では磐越東線神保驛から積出す石灰石の運賃値下げ方を鐵道に請願中のところ去る十二日から昭和七年三月十一日まで三割引をなすことになつた

永戸箕輪養蠶組合

石城郡永戸箕輪兩村の養蠶組合員は十二日午前十時から永戸村役場で兩村台同の養蠶實行組合設立に就いて協議を行ひ役員及び組織方法等を共議した

青年訓練査閲 大野村を劈頭に

十一月廿二日から

福島聯隊區の昭和六年度青年訓練所事務及生徒の教練査閲は愈々十月初日より縣下一齊に行ふ事になつたが石城郡の査閲は十一月廿二日の大野村を劈頭に郡下二千餘の訓練所生に對し歩兵中佐宮尾佑吾氏が査閲する管であるが當日は各青訓主事は日誌出席簿教練教材配當進度表等の査閲を受け終つて青訓生徒の着裝検査及體操各箇教練、部隊教練、陣中勤務、距離測量、信號分別を行ひ最後に査閲官の講話があるので各青訓所で

Table with columns for date, location, and instructor. Includes entries for 大野村, 赤井, 飯野, 高久, 鹿島, 豊間.

三十日 小名濱 小名濱校
十二月 江名 渡邊校
一日 渡邊 渡邊校
二日 川部 錦校
三日 田人 田人校
四日 入遠野 入遠野校
五日 磐崎 湯本校
六日 好間 好間第一校
七日 合戸 永戸校
八日 差鹽 澤渡校
九日 下三坂 上三坂校
十日 川前 桶賣校

各事務長に 選舉の注意

五日午前九時より管内縣議候補各事務長を招集し選舉に關する注意をなすと

石城礦取引狀況

△四倉礦市場(十三日)
(白蘭)七三貫(最高)三圓十錢(最低)二圓七十錢
(馴)二圓九十錢
(累計)一七、〇五六貫五七〇

平町人事

△長橋町廿 當時東京府下北豊島郡 三河島二八五 山田秀二氏四女智子
△九品寺前四二 當時田村郡片倉根村字船引鐵道官史 松崎四郎氏二女淑子
△南町一三 當時東京市外北豊島郡 町字雜司ヶ谷龜原七〇 學生 齋藤保義氏 長男一郎

死 亡 編者土工 佐々木力三(五二)

冬通學服 當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。長ツボン付 小學生用...・85錢、同(特製品)...1・90錢、中學生用...2・80錢。なかや洋服店 平三 電話203

秋の中折帽特賣 生地・染色・色彩に31年秋の最新流行中折帽子を六種のベストプライスで提供致します。鳥打帽子 三五ヨリ、ベール 二五ヨリ。平5丁目電353 モリタヤ洋品店

勿驚破天荒廉賣 記念新坑着炭 磔城炭界...優良炭。正味拾貫匁入 一俵金貳拾五錢。一俵より 配達します。水野石炭商店 東京コークス・販賣 平郵便局通り 電話二九九番

廢された壹圓銀貨を種に 八十圓のボロいもろけ

平局前で密賣中捕はる 好奇心をもつた詐欺漢

平町四丁目和泉屋旅館宿泊人愛知縣中島郡起町三條生れ水野義男(三)は赤井嶽の祭例を目當にし多数の舊一圓銀貨を東京方面より仕入れ去る十一日赤井嶽にて時價四五十錢の同銀貨を日本銀行に持参すれば手数料二錢を以て一圓紙幣と交換出来るを稱して百餘枚を販賣し得たので十三日は平郵便局前に同様の手段にて數十枚販賣して居た處へ平署員に不審と睨まれ直に引致取調べた處前記一圓舊銀貨は明治廿九年六月廢貨となつて居り何處の銀行でも交換せぬ事になつてゐるので詐欺罪となる模様であるが同人は百五十枚の賣上で八十餘圓の利益を擱んで居たと押へ方を願出た

母校の誇を擔ひ 各選手健闘の跡

平商の進出。番狂はせ

第十回縣下中等學校體育大會は既報の如く昨十三日柔道は會津中學に、劍道は若松商業に、陸上競技は安積中學において開催されたが之に参加した平商、平商の兩校選手は夫々母校の誇りと名譽を擔つて健闘したが平商は柔道において五割八分の好率を以て第四位を獲得、同校根本久太郎選手は個人試合において優勝した一方新進平商は會中、保中を破つて一躍十四位を占めたのは意外の番狂はせだつたらう、劍道は平商、平商

逃走酌婦

茨城縣結城郡江川村字大戰内郷村にゐるか

三井呉服店の ウインド破壊

平陽女學業では十四、五の兩日バザーを開催し同校生徒作品を一般父兄の隨覽に供する筈であるが盛會を豫想される

家庭戦線の異状 姑おいてけぼり

老いては子に従へ乎
養子等に歸宅の説諭

郡山市阿彌陀町大工間佐藤福太郎(三)は數年前吉川ヨシと結婚したが福太郎は姑のカメ(六)と事毎に争ひを起し最近では同じ家に居り乍口もさかぬ有様で居た爲め妻のヨシと相談し老親を離れて生活を初めようと去る十日午後六時活動を見物

一時交通杜絶

淺間山爆發が因
十三日午前七時頃から約三十分に亘つて平町地方に火山灰が降り一時は交通も杜絶する騒ぎを演じ桑園の被害も甚大に上る見込みであるがこれは同日午前四時頃突然爆發した淺間山の火山灰であつたと

明日のラジオ

今晩の部
後六、〇〇(子供の時間) お話「ブラジルのお友達」
ブラジルサンパロ統領事
中島清一郎
後六、三〇 英語講座「初等科」岡倉由三郎
後八、〇〇 吹奏樂 海軍
後八、三〇 清元「鞍馬獅子」清元 梅太夫外
後八、五〇 ラヂオドラマ「あらし」丸山定夫外

明日の部
後九、四〇 時報 全國ユース 氣象通報 番組豫告 生齒相場
後九、一〇 料理献立「ピラリス」小野やす子
前二、〇〇 家庭講座「秋と被服」磯部辰雄
後〇、〇五 和洋合奏 日活オーケストラ 指揮田中豊明鳴物軒屋福藏社中
後二、二〇 運動競技(兩天順延)「秋季六大學野

二人組の怪盜 平町内に出没す

平署全力を擧げて搜索

十二日午前一時頃平町仲間町雜貨商佐藤庄次郎方を襲ひ金剛懷中時計一個價格三十圓を窃取更にその足で月見町、新川町方面へ行き諸橋呉服店他六、七軒を襲ひ衣類貴金屬等價格六十餘圓を窃取した賊あり過般平町長橋町及び五六丁目を襲つた犯人と同一の見込みで平署で目下躍起となつて犯人嚴探中

貧血症もた續出

當局豫防策に腐心

石城郡三坂村大字下三坂字谷合藁谷倉次所有の六才牝馬及び澤渡村大字下市萱字遅川草野セツ所有九才牝馬はいづれも傳染性貧血症と判明直に撲殺したが澤渡村大字下市萱字堀の内水野義信方四才牝馬同村字北折笠銀太郎所有の十八歳牝馬はいづれも疑似症となり百方豫防しつゝあるが一時姿を沒した急性の傳染性貧血症が再び擡頭したので本日一時に四頭の報告に接した平署では近く大々的に豫防策を講じる筈であると

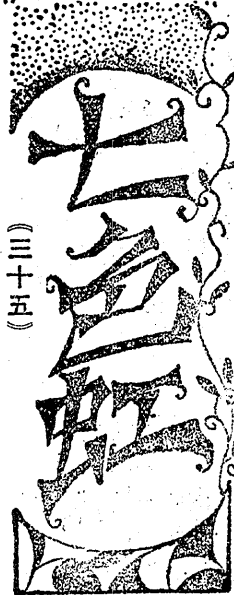
片割れ平

町民戦々競々
昨十三日夜十一時頃平署員が播穂小路地内を密行中小松書店内をのぞきみる不審の者があるので直ちに本署へ通行取調べたが右は米

正確な検査

無料検査
各眼科院御用

小説



(三十五)

【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

小夜更けて (1)

『お嬢さま、貴女に少し内々でお耳に入れどき度いとがございませうが、エートちよつとお次の間までお立ちを願ひますかな。』

『然う、いゝわ』

千代子は天井からつるした氷嚢の位置を直して父の額に滲み出した汗をそつと拭き取つた。そして足音をぬすむやうに次の八疊へ入ると緑色の笠をかぶせた電話スタンドのところに坐り込んで待つてゐた清作は屈托らしく沈ませた顔をひよいと舉げてこまぬいた腕を解きながら。

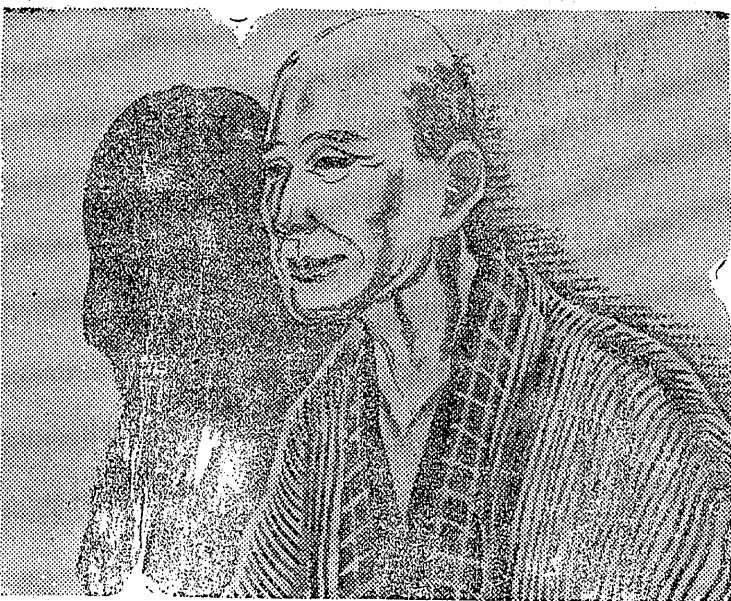
『お嬢さま、困つたもんですなア。』

大きく息づいて遺瀧なげに千代子を見詰めた。

『まつたくよ。どうしてよいか私途方に暮れちまつたわ。爺やには何にか良い考へがあること、私にはもう如何してよいか考へなから出て来ないわ、全くこまかつたことになつたわね。』
千代子は無理に押しつけてゐた胸一杯の哀愁を誘ひ出されてはほろりとなつた。『どうもあの御容体がね。いつもとは違つて少し、變だと私は考へますが、お嬢

様はどうをぼしめす、私は非常に心配でございませうがお醫者はどんなことを言ひましたい。』
『一時的の病氣だから直に快くなるだらうけれど、今のところは絶対安静を守らないと如何いふ變化が来るかも分らないからツて。

『ハイ、然うですか、あの先生だけちや少し不安心ちやござせんか、明日にももう一度一つの佐藤博士あたり診てお貰ひなすつたら如何です。そして場合によつたら入院なさるなり。看護婦を頼むなりなすつて出来ただけのお手當をなさらなくちやいけません。』
『え、私ももう先刻から然う思つてゐるだけどもね。お母さんか兄さんがゐらつしやれば御相談をするんだけれどお二人とも御留守ぢや如何することも出来ないぢやないの。それで一人で



何分あの御老体ではと何んだかちつとも不得要領なことを被仰つてよ。だから心配のやうで安心なやうで私には一寸先のこととも解らんと云ふものだわ。お醫者さんでさへ不得要領なものね、爺や、お前はどう思

氣を揉んでゐるのよ。』
『いや御察し申します。降つて湧いたやうな今日の騒ぎのなかへあの御病氣ですからね。貴女の御心もちはどうなだらうかと思ふところの爺は全く正直泣きてえやうでけすよ。だ、お嬢様、

こんな場合に何故御母さんに黙つてゐらつしやるんです。電話なり電報なりで直ぐ御歸りになるやうにそつと云つて御やんなさりやあいのにな。』
『いゝえ、それがね御父さんの御氣に召さないの。ほんとに私一人で苦しい苦しい想ひでね。そしてさつき御電話で御知らせしようとしたり、不可ないと被仰るのよ。私、どうしたらよいのでしやう。』
『へえ……… どういふ譯で……… そいつア解せねえな。』
清作は眉をひそめながら不思議なやうに合點のゆかぬ顔つきであつた。

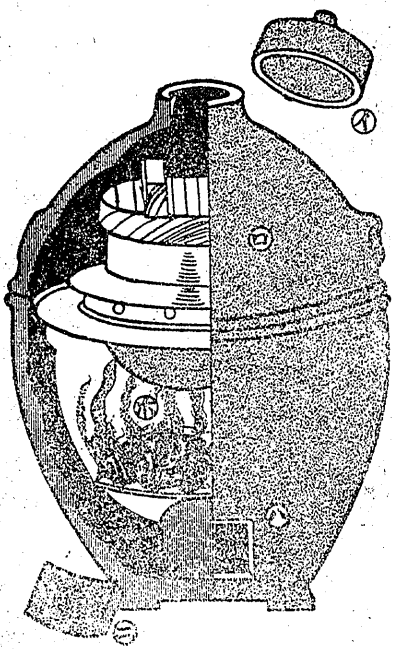
融金替爲。債公。券債

店質井田多

町工大町平
番一九五話電

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

新案特許
號五一三五第一



元賣販造製
店商治鍛小
番三三電 三平

小鍛治式極東ムシカマド

◎本品にニセ物有小鍛治式に御注意

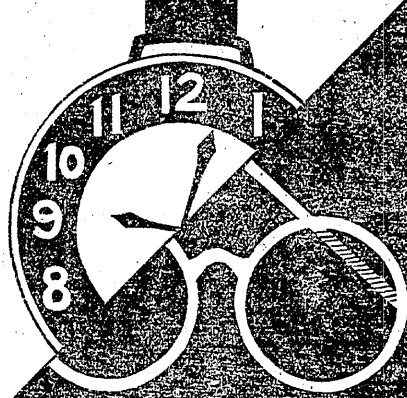
三井
の
商品切手

平三電 三八四番

東北ヒヨケの元祖
責任者 敷島製
近頃弊店名をタクミに利用して受注する者有り尙紺屋町ヒヨケ屋正木森之助氏の如きは弊店と關係あるが如き事を云振らす由に候も同氏とは絶対關係無之候又武藤定三氏は過般解雇したるに付右御了承の上此後御註文の際は右弊店マークに御注意被下御願ひ申上度此段謹告候也
平町六丁目大通り(元は白銀町)
敷島テント商店

正確な時計

平一常盤屋時計店



お客様本位の……

好適の眼鏡

市原醫院

平町田町
電話一四番

御用命は印刷物の總て
常警日印刷株式會社
電話六三〇番